

「私たちの暮らしと水環境」



茶花小学校 4年生

講師：

NPO 法人海の再生ネットワークよろん
池田香菜さん

琉球大学 中野拓治客員教授

環境課 光俊樹さん

令和2年度与論町海洋教育

11号

昨年度から与論町教育委員会では日本財団・東京大学海洋教育センター・笹川平和財団海洋政策研究所からの支援を受け海洋教育パイオニアスクールを導入しました。町内の小・中・高等学校が連携して行う「地域連携型」というスタイルで海を通じた学びの活動を行っています。与論町教育委員会を含め全国10の地域が「地域連携型」で海洋教育パイオニアスクールプログラムに参加しています。

1月22日に茶花小学校で実施された、「私たちの暮らしと水環境」の授業を見学させていただきました。講師は、NPO 法人海の再生ネットワークよろん 池田香菜さん、琉球大学中野拓治客員教授、与論町環境課の光さんです。中野先生は東京からオンラインで参加してくださいました。



最初に中野先生から「与論島での水環境」について学びました。水が私たちに届くまでの過程や、その量などを知り、「水」がどれだけ貴重なものか理解することのできる内容でした。

その後、与論町で採集した水を使ってパックテストを行いました。この実験では、5つの水「水道水」「雨水」「地下水」「排水路」「海水」の「窒素」、「リン」を計りました。パックテストの結果を基に、色が「こい→うすい」の順に並べ替え、それぞれの水の色の違いを確認しました。時間の都合でできなかった pH テストの結果は池田さんから教えてもらい、分かったことや考えたことをまとめました。



授業の最後には、「私たちの暮らしが与える海の生き物への影響」について考えました。実験結果や先生方のお話を基に、「自分たちの生活が海の生き物へどのような影響を与えているのか」、「自分たちは何ができるか」考えました。

「拾い箱の役割をもっと多くの人に知ってもらうために、ポスターを描いてみたらどうか？」など、具体的なアイデアもでていました。「私たちにできることって何だろう？」池田さんの投げかけに、すぐに答えを返していた子供たちの姿が印象的な授業でした。

日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

海洋教育センター
CENTER FOR OCEAN LITERACY AND EDUCATION

笹川平和財団
海洋政策研究所

<https://www.spf.org/pioneerschool/>



取材：

与論町海洋教育推進協議会事務局

取材日：2021.01.22